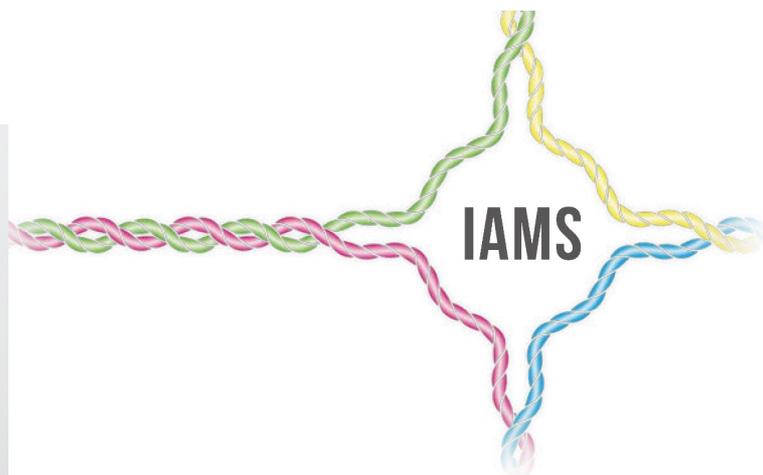


先端酵素学研究所 教授就任講演会

10月8日 **木**

17:00~18:30

藤井節郎記念ホール



先端酵素学研究所
分子生命科学分野
齋尾 智英 教授

生命を駆動する弱い分子間相互作用

生命を構成する生体分子間の弱く動的な相互作用に注目が集まっている。特に最近では、タンパク質や核酸の流動的な相互作用によって形成される液-液相分離が、シグナル伝達やストレス応答、転写制御などの様々な生命現象を駆動し、神経疾患などとの関連も深いことが明らかになってきた。液-液相分離の制御には、核輸送因子や分子シャペロンなどが関与することが明らかになりつつあるが、その詳細なメカニズムは不明である。ここでは、NMRを用いた核輸送因子やシャペロンについての相互作用解析・立体構造解析から明らかにされたメカニズムについて紹介する。

新型コロナウイルス感染予防のため、ご来場の際にはマスク着用、事前の手洗いなどお願い致します。

お問合せ先：先端酵素学研究所セミナー委員会
担当：竹本龍也（内線 9160/ 発生物学分野）takemoto.tatsuya@tokushima-u.ac.jp

主催：徳島大学先端酵素学研究所（第41回 先端酵素学研究所セミナー）
共催：文部科学省共同利用・共同研究拠点事業、トランスオミクス医学研究拠点ネットワーク形成事業